

フラワーデザイン

植物科学科 2年生

12月の授業では、クリスマスリースの作成に取り組んでいます。リースには①魔除け効果、②豊作祈願、③新年の幸福祈願の3つの役割があり、特に農作物の繁栄を期待するため農業では関わりのあるアレンジメントです。

クリスマスといえば、赤と緑を基調としたポインセチアカラーが連想されますが、装飾品や色合いによって様々な顔を見せてくれます。

① リースの作成

リースの土台となる花材には、**ヒムロスギ**と**ヒバ**の2種類を使用しました。1周目で形を整え、2週目でワイヤーや下地を隠しながら成形していきます。



作成したリースは、霧吹きで湿らせた後、新聞紙で包むことによって全体的に丸みを帯びた形に整ってきます。



② オーナメントの装飾

オーナメントとはクリスマスツリーやリースに飾り付けるもののことです。クリスマスツリーの装飾品（トッフスター、ベル、リンゴ、ボールなど）が一般的ですが、リースではそれらに加え、生徒が授業で得たリボンなどの技術を使って装飾して行きました。



授業の様子



③ 展示

作成した2年生の作品は校内に展示させてもらいました。

2年生は昇降口にて本校の終業式（12月24日（金））まで展示しています。



生徒が作成した作品

